

国分寺 高等学校 令和7年度 教科 国語 科目 現代の国語

教 科： 国語 科 目： 現代の国語 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： (1組 齋藤) (2組 齋藤) (3組 平林) (4組 平林) (5組 青木) (6組 齋藤) (7組 平林) (8組 青木)

使用教科書： (「探求 現代の国語」桐原書店)

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な言葉の使い方や情報の扱い方、現代の国語に関することや読書など国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしており、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	①体験と思索1 【知識及び技能】 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に本文中に根拠を求め、筆者の主張に対する自分の考えや表現の仕方を工夫して書く。	◎指導事項 ○本教材へ興味関心を持たせる。 ○本教材の読解に必要な知識を付ける。 ○本教材の論理展開や構成を分析し、理解させる。 ○単元終了時には200字要約をする。自主的な取り組みは更に100字要約へと促す。 ◎教材 河合隼雄「ふしぎと人生」 「読書は必要か？」 (原研哉「マヨネーズの穴から」) ◎一人1台端末の活用、ノート作成、活用	○	○	○	・本教材を読んだり、学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ・評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確の捉え、要旨や要点を把握することができる。 ・筆者のものの見方や感じ方を理解するとともに、自己を見つめ、自己の生き方を模索するきっかけを得る。また、読書について考える。 ・発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。(授業時の反応)	○	○	○	9
	第一回定期考査			○			○	○		1
	②評論1 【知識及び技能】 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	◎指導事項 ○本教材へ興味関心を持たせる。 ○本教材の読解に必要な知識を付ける。 ○本教材の論理展開や構成を分析し、理解させる。 ○単元終了時には200字要約をする。自主的な取り組みは更に100字要約へと促す。 ◎教材 佐藤卓「ほどほどのデザイン」 大岡信「言葉の力」 (知の深化「現代の詩五編」) ◎一人1台端末の活用、ノート作成、活用	○	○	○	・本教材を読んだり、学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ・評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確の捉え、要旨や要点を把握することができる。 ・文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えとともに、日本の文化や言葉について自分の考えを深める。 ・「ささやかな言葉」こそが「感動」を与えるという筆者の主張を読み取る。 ・発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。(授業時の反応)	○	○	○	9
	第二回定期考査			○			○	○		1

2 学 期	③評論Ⅱ 【知識及び技能】 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	◎指導事項 ○本教材へ興味関心を持たせる。 ○本教材の読解に必要な知識を付ける。 ○本教材の論理展開や構成を分析し、理解させる。 ○単元終了時には200字要約をする。自主的な取り組みは更に100字要約へと促す。 ◎教材 山崎正和「サイボーグとクローン人間」 外山滋比古「読む」 (知の深化 川上弘美「神様」) ◎一人1台端末の活用、ノート作成、活用	○	○	○	・論理性に着眼して評論を読み解く方法を学んで筆者の考えをまとめ、現代の科学や創造的に読むことについて自分の考えを深める。 ・評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確の捉え、要旨や要点を把握することができる。 ・サイボーグとクローン人間の製作上の違いを理解し、研究の現状を把握する。サイボーグが人間の心のあり方にも影響を及ぼしかねないことを読み取る。 ・発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。(授業時の反応)	○	○	○	9
	④実社会Ⅰ ⑤評論Ⅲ 【知識及び技能】 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	◎指導事項 ○本教材へ興味関心を持たせる。 ○本教材の読解に必要な知識を付ける。 ○本教材の論理展開や構成を分析し、理解させる。 ○単元終了時には200字要約をする。自主的な取り組みは更に100字要約へと促す。 ◎教材 上野千鶴子「問いの立て方とオリジナリティ」 岩井克人「経済の論理/環境の倫理」 (若林幹夫「遅れてきた『私』」) ◎一人1台端末の活用、ノート作成、活用	○	○	○	・本教材を読んだり、学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ・評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確の捉え、要旨や要点を把握することができる。 ・社会に関連する文章を読み解くことで、実社会との関わり方について自分の考えを深めている。 ・文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えとともに、社会や個人のあり方について自分の考えを深めている。 ・発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、考え方を深めようとしている。(授業時)	○	○	○	5
	第三回定期考査		○				○	○		1
	⑥体験と思索Ⅱ ⑦評論Ⅳ 【知識及び技能】 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	◎指導事項 ○本教材へ興味関心を持たせる。 ○本教材の読解に必要な知識を付ける。 ○本教材の論理展開や構成を分析し、理解させる。 ○単元終了時には200字要約をする。自主的な取り組みは更に100字要約へと促す。 ◎教材 長田弘「レオーノフノ帽子屋」【参考】「I was born」 鷲田清一「わかろうとする姿勢」 ◎一人1台端末の活用、ノート作成、活用	○	○	○	・本教材を読んだり、学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ・評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確の捉え、要旨や要点を把握することができる。 ・他者の生き方から普遍的な価値を見出し、テーマに対する筆者の姿勢を理解したうえで自らの考えを持ち、生きることについての考えを深めている。 ・筆者の主張を踏まえた上で社会の変遷や他者と自分との関係性について自分の意見を持っている。 ・発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。(授業時)	○	○	○	9
⑧実社会Ⅱ ⑨評論Ⅴ 【知識及び技能】 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	◎指導事項 ○本教材へ興味関心を持たせる。 ○本教材の読解に必要な知識を付ける。 ○本教材の論理展開や構成を分析し、理解させる。 ○単元終了時には200字要約をする。自主的な取り組みは更に100字要約へと促す。 ◎教材 伊藤亜紗「目の見えない人は世界をどう見ているのか」 船木亨「AIの判断」 ◎一人1台端末の活用、ノート作成、活用	○	○	○	・本教材を読んだり、学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ・科学技術や言語についての文章を読んで理解し、筆者の主張を踏まえたうえで、「AI」や「コミュニケーション」といった現代的テーマについて自分の意見を持つ。 ・社会に関連する文章を読み解くことで、実社会との関わり方について自分の考えを深めている。 ・発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。(授業時の反応)	○	○	○	12	
第四回定期考査		○	○			○	○		1	
3 学 期	⑩評論Ⅵ 【知識及び技能】 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	◎指導事項 ○本教材へ興味関心を持たせる。 ○本教材の読解に必要な知識を付ける。 ○本教材の論理展開や構成を分析し、理解させる。 ○単元終了時には200字要約をする。自主的な取り組みは更に100字要約へと促す。 ◎教材 内田樹「歴史は『今・ここ・私』に向かつてはならない」 井崎正敏「思想の出自」 (知の深化 「現代の短歌十首/現代の俳句十句」) ◎一人1台端末の活用、ノート作成、活用	○	○	○	・思考の相対化や思想の多様性をテーマとした文章を読んで理解し、筆者の主張を踏まえたうえで、「相対性」や「多様性」といった現代的テーマについて自分の意見を持つ。 ・言葉や表現に注目した上で短詩型作品を読み味わってその魅力を理解し、自分の感性や観念の拡充・深化を図る。 ・評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確の捉え、要旨や要点を把握することができる。 ・発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。(授業時の反応)	○	○	○	13
	第五回定期考査		○				○	○		1
										合計
										70

国分寺 高等学校 令和 7 年度 教科 国語 科目 言語文化

教 科： 国語 科 目： 言語文化 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1～6組 青木） （1～6組 平林） （1～6組 小熊） （7～8組 倉股） （7～8組 中西） （7～8組 野々村）

使用教科書：（「探求 言語文化」桐原書店）

教科 国語 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
- 科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の言語文化の特質について理解している。 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。	我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を理解している。 我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を理解している。	これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもとうとしている。 これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に大きな影響を与えた漢文に興味・関心を深めている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	①古文入門 【知識及び技能】 歴史的仮名遣い、用言を中心とした文法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文中の省略を補って現代語訳をする。 古文の世界観を考察し、親しむ。 【学びに向かう力、人間性等】 文法、語彙調べなどを積極的にに行い、古典世界への興味を持つ。	◎指導事項 ○古文を読む意義を理解して、古文や古文に描かれた世界に関心を持つ。 ○音読を繰り返して古文に慣れるとともに、古語と現代語の違いを理解し、古文を読む基礎を学ぶ。 ○説話の展開や内容をまとめて話の面白さを理解するとともに、古文を読む基礎を学ぶ。 ◎古典と文化・古文と古語 宇治拾遺物語集「検非違使忠明のこと」 十訓抄「大江山」 沙石集「花盗人の歌」 ◎一人 1 台端末の活用、ノート作成、活用	○	○	○	・歴史的仮名遣い、文法事項、古典を読むために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 ・古典の世界に親しむための説話の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・内容や構成・展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。	○	○	○	12
	①漢文入門 【知識及び技能】 日本語と漢文の構造の違いを理解し、漢文訓読の仕方を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文句法を踏まえ、漢文の構成などについての確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容に親しみ、協働して学びに向かう。	◎指導事項 ○漢文について興味関心を持たせる。 ○漢文訓読の仕方を理解させる。 ○中国古典に対する理解を深める。 ◎教材 「漢文を学習するということ」「漢文の基礎」「推敲」「漁夫之利」「知音」 ◎一人 1 台端末の活用、ノート作成、活用	○	○	○	・漢文句法を学び、自分たちの言語文化の特質と外国の言語文化の特質との関係について理解している。 ・漢文を学ぶ意義を理解し、訓読の歴史やその仕組みに関心を持つ。 ・漢語の構造・訓読のしかた・書き下し文・再読文字・返読文字・漢文特有の構造について理解し、漢文を読む基礎を学ぶ。 ・音読を繰り返して訓読に慣れるとともに、示唆に富む内容を読み味わい、故事成語への理解を深める。	○	○	○	8
	定期考査			○			○	○		1
	②随筆と日記 【知識及び技能】 歴史的仮名遣い、用言を中心とした文法を理解する。和歌の修辞法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文中の省略を補って現代語訳をする。 古文の世界観を考察し、親しむ。 【学びに向かう力、人間性等】 文法、語彙調べなどを積極的にに行い、口語訳や作品解釈を行う。	◎指導事項 ○古文作品へ興味関心を持たせる。 ○古文読解に必要な知識を付ける。 ○随筆の内容を理解して、人間・社会などに対する作者の思想や感情を読み取るとともに、助動詞を中心に文法事項への理解を深める。 ◎教材 徒然草「つれづれなるままに」「ある人、弓射ることを習ふに」「花は盛りに」 ◎一人 1 台端末の活用、ノート作成、活用	○	○	○	・歴史的仮名遣い、文法事項、古典を読むために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 ・随想の歴史的・文化的背景などについて理解している。 ・内容や構成・展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。	○	○	○	12
	①漢文入門 故事成語 【知識及び技能】 読解に必要な漢文訓読・漢文句法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文句法を踏まえて現代語訳を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容に親しみ、理解を深めるために協働して学びに向かう。	◎指導事項 ○漢文訓読、句法について理解する。 ○各教材の内容と故事について興味関心を持ち、理解する。 ○故事成語を通して当時の中国の人々の生活やものの見方、感じ方を理解する。 ◎教材 「朝三暮四」「塞翁馬」 ◎一人 1 台端末の活用、ノート作成、活用	○	○	○	・音読を繰り返して訓読に慣れるとともに、示唆に富む内容を読み味わい、故事成語への理解を深める。 ・故事成語を通して語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・故事成語を読んで、文章の意味は文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、故事成語の歴史的・文化的背景などを理解している。また、文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	○	○	○	8
	定期考査			○			○	○		1

2 学 期	②随筆と日記 【知識及び技能】 助動詞を中心とした文法事項を理解する。。 【思考力、判断力、表現力等】 文中の省略を補って現代語訳をする。日記に描かれた人々の生活や、ものの見方・感じ方を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 文法、語彙調べなどを積極的に行い、口語訳や作品解釈を行う。	◎指導事項 ○古文作品へ興味関心を持たせる。 ○古文読解に必要な知識を付ける。 ○登場人物の心情や世界観を考え、まとめる。 ◎教材 枕草子「ありがたきもの」土佐日記「門出」「帰京」 ◎一人1 台端末の活用、ノート作成、活用	○	○	○	・随筆を読んで、自然と人間に対する作者の思想や感情を読み取るとともに、助動詞・助詞を中心に文法事項への理解を深める。 ・日記に描かれた平安時代の旅の様子や登場する人々の心情を理解するとともに、助動詞を中心に文法事項への理解を深める。	○	○	○	12	
	②史伝 【知識及び技能】 読解に必要な漢文訓読・漢文句法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文句法を踏まえて現代語訳を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容に親しみ、理解を深めるために協働して学びに向かう。	◎指導事項 ○漢文訓読、句法について理解する。 ○各教材の内容と史伝について興味関心を持ち、理解する。 ○史伝を通して当時の中国の人々の生活やものの見方、感じ方を理解する。 ◎教材 「鶏口牛後」「管鮑之交」「臥薪嘗胆」 ◎一人1 台端末の活用、ノート作成、活用	○	○	○	・史伝を通して語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・史伝を読んで、文章の意味は文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、史伝の歴史的・文化的背景などを理解している。また、文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・音読を繰り返して長文の漢文に慣れるとともに、人間や人間関係を生き生きと描いた史伝の魅力を読み味わう。	○	○	○	8	
	第三回定期考査			○				○	○	1	
	③物語と軍記 【知識及び技能】 敬語を中心とした文法事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文中の省略を補って現代語訳をする。軍記物語に描かれた人々の生活や、ものの見方・感じ方を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 文法、語彙調べなどを積極的に行い、口語訳や作品解釈を行う。	◎指導事項 ○古文作品へ興味関心を持たせる。 ○古文読解に必要な知識を付ける。 ○登場人物の心情や世界観を考え、まとめる。 ◎教材 竹取物語「なよ竹のかぐや姫」伊勢物語「芥川」「東下り」「筒井筒」 ◎一人1 台端末の活用、ノート作成、活用	○	○	○	・作り物語の内容を理解し、物語が語りの文学であることを押さえるとともに、音便と助動詞について理解する。 ・歌物語の内容を理解し、当時の社会や人々のありさまや心情を捉えるとともに、和歌の修辞技法や敬語表現の概要について理解する。	○	○	○	13	
3 学 期	①近代の小説 【知識及び技能】話の展開や主題の把握など小説を読む基本的な方法を習得する。【思考力、判断力、表現力等】登場人物の心理や行動の意味を表現に即して的確に読み取る。【学びに向かう力、人間性等】古典作品と近代以降の文章の関わりを理解し古典作品の翻案について理解を深める。	◎指導事項 ○翻案作品と元の作品の比較により説話の意義を考える。 ○多様な作品の読解を通して作品を味わう視点や身に付ける。 ◎教材 芥川龍之介「羅生門」今昔物語集「羅城門の上層に登りて死人を見る盗人のこと」	○	○	○	・小説の構造・展開・主題の把握など、小説を読む基本的な方法を学んで内容を理解し、人間の心理に対する考えを深める。 ・「羅生門」のもととなった説話を読み、どのように翻案が行われたかを捉える。	○	○	○	10	
	③詩文 【知識及び技能】読解に必要な漢詩のきまり、漢文訓読・漢文句法を理解する。【思考力、判断力、表現力等】漢文句法を踏まえて現代語訳を行う。 【学びに向かう力、人間性等】教材の内容に親しみ、理解を深めるために協働して学びに向かう。	◎指導事項 ○漢詩のきまり、漢文訓読、句法について理解する。○各教材の内容と唐詩について興味関心を持ち、理解する。○唐詩を通して当時の中国の人々の生活やものの見方、感じ方を理解する。 ◎教材「絶句」「早発白帝城」「登岳陽樓」「八月十五日夜、禁中独直、对月憶元九」	○	○	○	簡潔な表現に込められた内容や情感を理解して漢詩（唐詩）を鑑賞するとともに、近体詩の表現形式について理解する。	○	○	○		
	第四回定期考査			○	○			○	○	1	
	③物語と軍記 【知識及び技能】 敬語を中心とした文法事項を理解する。【思考力、判断力、表現力等】 文中の省略を補って現代語訳をする。軍記物語に描かれた人々の生活や、ものの見方・感じ方を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 文法、語彙調べなどを積極的に行い、口語訳や作品解釈を行う。	◎指導事項 ○古文作品へ興味関心を持たせる。 ○古文読解に必要な知識を付ける。 ○登場人物の心情や世界観を考え、まとめる。 ◎教材 平家物語「祇園精舎」「木曾の最期」 ◎一人1 台端末の活用、ノート作成、活用	○	○	○	・軍記物語を通して語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・軍記物語を読んで、文章の意味は文脈の中で形成されることを理解している。 ・軍記物語の内容を理解して登場人物の行動や心情を読み取り、音読を通じて語り物としての「平家物語」の魅力を味わうとともに、敬語表現への理解を深める。	○	○	○	10	
③詩文 文章 ④思想 【知識及び技能】 読解に必要な漢詩のきまり、漢文訓読・漢文句法を理解する。【思考力、判断力、表現力等】 漢文句法を踏まえて現代語訳を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容に親しみ、理解を深めるために協働して学びに向かう。	◎指導事項 ○漢文訓読、句法について理解する。○各教材の内容について興味関心を持ち、論理展開を理解する。 ○論語を通して当時の中国の人々の思想やものの見方、感じ方を理解する。 ◎教材 韓愈「雉説」「論語」「孟子」 ◎一人1 台端末の活用、ノート作成、活用	○	○	○	・論説文としての論理の展開と巧みな比喻表現を把握して内容を理解し、主題をまとめる。 ・「論語」を通して語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・「論語」を読んで、文章の意味は文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、歴史的・文化的背景などを理解している。また、文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	○	○	○	8		
第五回定期考査				○				○	○	1	
											合計
											105

国分寺 高等学校 令和 7 年度 教科 国語 科目 文学国語

教 科： 国語 科 目： 文学国語 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（ 1 ・ 2 ・ 5 組 大草 ） （ 3 ・ 4 組 斎藤穂 ） （ 6 ・ 7 ・ 8 組 小熊 ）

使用教科書：（ 「精選 文学国語」明治書院 ）

教科 国語 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・言葉の特徴や働きについて理解を深めることができる。 ・我が国の言語活動に関する知識・技術が身についている。 ・人間、社会、自然などに対する物の見方、考え方を深めている。	文学的な文章を読んで、考察を深め、自らの表現を高めることができる。	課題の提出、授業中の発表に積極的に取り組んでいる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	①小説入門 【知識及び技能】 作品中の言語を正確に理解するとともに語彙を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 作品中の場面と人物の心情の変化を的確に読み取り、考えたことを正確な日本語で書く。 【学びに向かう力、人間性等】 作品の背景や作者について知る。他の作品についても知る。	指導事項 ・文学作品に興味関心を持たせる。 ・作品の背景と作者について学ぶ。 ・登場人物の心情について読み取り、考えたことを書かせる。 教材 「山月記」中島敦 「悪童日記」アゴタ・クリストフ ・ノート作成、ワークシート活用・一人1台端末の活用	○	○	○	・小テストによる語彙学習の成果 ・定期テストによる作品の読解 ・定期テストによる応用問題の読解	○	○	○	9
	第1回定期考査					○	○		1	
	②文学の境界を広げる 【知識及び技能】 文章中の言語を正確に理解するとともに語彙を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 本文のテーマと筆者の主張を的確に読み取り、考えたことを正確な日本語で書く。文章の構成と展開について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の取り上げたテーマについて関心を持ち、学びを深める。	指導事項 ・本文とテーマに関心を持たせる。 ・本文の読解に必要な知識を付ける。 ・本文の論理展開や構成を理解させる。 ・本文を読み取り、考えたことについて書かせる。 教材 「鮑」安部公房 「マンガは哲学する」永井均 ・ノート作成、ワークシート活用・一人1台端末の活用	○	○	○	・小テストによる語彙学習の成果 ・定期テストによる作品の読解 ・定期テストによる応用問題の読解	○	○	○	9
	第2回定期考査					○	○		1	
2 学 期	③言葉の力 【知識及び技能】 作品中の言語を正確に理解するとともに語彙を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 作品中の場面と人物の心情の変化を的確に読み取り、考えたことを正確な日本語で書く。 【学びに向かう力、人間性等】 作品の背景や作者について知る。他の作品についても知る。	指導事項 ・文学作品に興味関心を持たせる。 ・作品の背景と作者について学ぶ。 ・登場人物の心情について読み取り、考えたことを書かせる。 教材 「こころ」夏目漱石 ・ノート作成、ワークシート活用・一人1台端末の活用	○	○	○	・小テストによる語彙学習の成果 ・定期テストによる作品の読解 ・定期テストによる応用問題の読解	○	○	○	9
	④伝統と革新 【知識及び技能】 文章中の言語を正確に理解するとともに語彙を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 本文のテーマと筆者の主張を的確に読み取り、考えたことを正確な日本語で書く。文章の構成と展開について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の取り上げたテーマについて関心を持ち、学びを深める。	指導事項 ・韻文に関心を持たせる。 ・韻文の読解に必要な知識を付ける。 ・韻文を読み取り、考えたことについて書かせる。 教材 短歌・俳句 ・ノート作成、ワークシート活用・一人1台端末の活用	○	○	○	・小テストによる語彙学習の成果 ・定期テストによる作品の読解 ・定期テストによる応用問題の読解	○	○	○	5
	第3定期考査					○	○		1	

期	⑤戦争と記憶 【知識及び技能】 作品中の言語を正確に理解するとともに語彙を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 作品における筆者の考えや主張を読み取り、理解したことを正確な日本語で書く。 【学びに向かう力、人間性等】 作品の背景や作者について知る。他の作品についても知る。	指導事項 ・文学作品へ興味関心を持つ。 ・作品の背景と作者について学ぶ。 ・登場人物の心情について読み取り、考えたことを書かせる。 教材 「空缶」林京子 「転移する記憶」岡真理 ・ノート作成、ワークシートの活用 ・一人1台端末の活用	○	○	○	・小テストによる語彙学習の成果 ・定期テストによる作品の読解 ・定期テストによる応用問題の読解	○	○	○	9
	⑥都市と移動 【知識及び技能】 文章中の言語を正確に理解するとともに語彙を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 本文のテーマと筆者の主張を的確に読み取り、考えたことを正確な日本語で書く。文章の構成と展開について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の取り上げたテーマについて関心を持ち、学びを深める。	指導事項 ・本文とテーマに関心を持たせる。 ・本文の読解に必要な知識を付ける。 ・本文の論理展開や構成を理解させる。 ・本文を読んで考えたことを書かせる。 教材 「檸檬」梶井基次郎 「都市は／を語る」石田英敬 ・ノート作成、ワークシート活用 ・一人1台端末の活用	○	○	○	・小テストによる語彙学習の成果 ・定期テストによる作品の読解 ・定期テストによる応用問題の読解	○	○	○	12
	第4定期考査						○	○		1
3 学 期	⑦自他への配慮 【知識及び技能】 作品中の言語を正確に理解するとともに語彙を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 作品中の場面と人物の心情の変化を的確に読み取り、考えたことを正確な日本語で書く。 【学びに向かう力、人間性等】 作品の背景や作者について知る。他の作品についても知る。	指導事項 ・文学作品へ興味関心を持つ。 ・作品の背景と作者について学ぶ。 ・登場人物の心情について読み取り、考えたことを書かせる。 教材 「巨人の接待」小川洋子 「はじめての沖縄」岸政彦 「愛について」竹村和子 ・ノート作成、ワークシートの活用。	○	○	○	・小テストによる語彙学習の成果 ・定期テストによる作品の読解 ・定期テストによる応用問題の読解				12
	第5定期考査									1
										合計 70

国分寺 高等学校 令和 7 年度 教科 国語 科目 古典探究

教 科： 国語 科 目： 古典探究 単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1～4 組 大草・倉股・野々村）（5・6 組 斎藤穂・齋藤帆・笹井）（7・8 組 大草・齋藤帆・笹井）

使用教科書：（「古典探究 古文編」「古典探究 漢文編」筑摩書房）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 古典探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の言語文化の特質について理解している。 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。	我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を理解している。 我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を理解している。	これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもとうとしている。 これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に大きな影響を与えた漢文に興味・関心を深めている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	①物語（１）・日記 【知識及び技能】 作品中の言語を正確に理解し、作者の伝えたいことを読み取る。 入試に頻出する語彙、古典文法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 作品を読んで理解したことや考えたことを正確な日本語で書く。 【学びに向かう力、人間性等】 作品の背景について学ぶ。	指導事項 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解させ、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにさせる。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察させる。 教材 「渚の院」 「源氏の五十余巻」 ・ノート作成、ワークシート活用・一人1台端末の活用	○	○	○	・語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることが、十分にできている。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することが、十分にできている。 ・教材の内容に関心をもち、十分粘り強く取り組むことができた。 発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めることが十分にできた。	○	○	○	12
	②故事成語 【知識及び技能】 作品中の言語を正確に理解し、作者の伝えたいことを読み取る。 入試に頻出する語彙、漢文句法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 作品を読んで理解したことや考えたことを正確な日本語で書く。 【学びに向かう力、人間性等】 作品の背景についても学ぶ。	指導事項 ・漢文に用いられている語句の意味や用法を理解させ、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにさせる。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察させる。 教材 「先從隗始」 ・ノート作成、ワークシート活用・一人1台端末の活用	○	○	○	・語句の意味や用法を理解し、漢文を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることが、十分にできている。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することが、十分にできている。 ・教材の内容に関心をもち、十分粘り強く取り組むことができた。 発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めることが十分にできた。	○	○	○	8
	第1 定期考査			○			○	○		1
	③物語（２） 【知識及び技能】 作品中の言語を正確に理解し、作者の伝えたいことを読み取る。 入試に頻出する語彙、古典文法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 作品を読んで理解したことや考えたことを正確な日本語で書く。 【学びに向かう力、人間性等】 作品の背景について学ぶ。	指導事項 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解させ、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにさせる。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察させる。 教材 「花山院の出家」 ・ノート作成、ワークシート活用・一人1台端末の活用	○	○	○	・語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることが、十分にできている。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することが、十分にできている。 ・教材の内容に関心をもち、十分粘り強く取り組むことができた。 発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めることが十分にできた。	○	○	○	12
	④史伝 【知識及び技能】 作品中の言語を正確に理解し、作者の伝えたいことを読み取る。 入試に頻出する語彙、漢文句法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 作品を読んで理解したことや考えたことを正確な日本語で書く。 【学びに向かう力、人間性等】 作品の背景についても学ぶ。	指導事項 ・漢文に用いられている語句の意味や用法を理解させ、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにさせる。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察させる。 教材 「鴻門之会」 「四面楚歌」 ・ノート作成、ワークシート活用・一人1台端末の活用	○	○	○	・語句の意味や用法を理解し、漢文を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることが、十分にできている。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することが、十分にできている。 ・教材の内容に関心をもち、十分粘り強く取り組むことができた。 発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めることが十分にできた。	○	○	○	8
	第2 定期考査			○			○	○		1

2 学 期	⑤随筆 【知識及び技能】 作品中の言語を正確に理解し、作者の伝えたいことを読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 作品を読んで理解したことや考えたことを正確な日本語で書く。 【学びに向かう力、人間性等】 作品の背景について学ぶ。	指導事項 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解させ、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにさせる。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察させる。 教材 「二月つごもりごろに」 「中納言参りたまひて」 「大事を思ひ立たむ人は」 ・ノート作成、ワークシート活用・一人1台端末の活用	○	○	○	・語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることが、十分にできている。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することが、十分にできている。 ・教材の内容に関心をもち、十分粘り強く取り組むことができた。 発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めることが十分にできた。	○	○	○	12
	⑥思想 【知識及び技能】 作品中の言語を正確に理解し、作者の伝えたいことを読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 作品を読んで理解したことや考えたことを正確な日本語で書く。 【学びに向かう力、人間性等】 作品の背景についても学ぶ。	指導事項 ・漢文に用いられている語句の意味や用法を理解させ、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにさせる。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察させる。 教材 「論語」 「孟子」 「荀子」 ・ノート作成、ワークシート活用・一人1台端末の活用	○	○	○	・語句の意味や用法を理解し、漢文を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることが、十分にできている。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することが、十分にできている。 ・教材の内容に関心をもち、十分粘り強く取り組むことができた。 発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めることが十分にできた。	○	○	○	8
	第3回定期考査			○			○	○		1
	⑦物語 【知識及び技能】 作品中の言語を正確に理解し、作者の伝えたいことを読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 作品を読んで理解したことや考えたことを正確な日本語で書く。 【学びに向かう力、人間性等】 作品の背景について学ぶ。	指導事項 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解させ、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにさせる。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察させる。 教材 「光源氏の誕生」 「若紫の君」 ・ノート作成、ワークシート活用・一人1台端末の活用	○	○	○	・語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることが、十分にできている。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することが、十分にできている。 ・教材の内容に関心をもち、十分粘り強く取り組むことができた。 発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めることが十分にできた。	○	○	○	13
	⑧文章 【知識及び技能】 作品中の言語を正確に理解し、作者の伝えたいことを読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 作品を読んで理解したことや考えたことを正確な日本語で書く。 【学びに向かう力、人間性等】 作品の背景についても学ぶ。	指導事項 ・漢文に用いられている語句の意味や用法を理解させ、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにさせる。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察させる。 教材 「捕蛇者説」 ・ノート作成、ワークシート活用・一人1台端末の活用	○	○	○	・語句の意味や用法を理解し、漢文を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることが、十分にできている。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することが、十分にできている。 ・教材の内容に関心をもち、十分粘り強く取り組むことができた。 発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めることが十分にできた。	○	○	○	10
	第4回定期考査		○	○			○	○		1

国分寺 高等学校

令和 7 年度

教科 国語

科目 論理国語

教 科： 国語

科 目： 論理国語

単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（ 1 5 組：齋藤 （ 2 8 組：中西 （ 3 4 組：野々村 ）（ 6 7 組： 井口 （ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ 論理国語 筑摩書房 ）

教科 国語

の目標：

【知 識 及 び 技 能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 論理国語	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
日本語の言語の特徴や働きについて理解を深め、多様な言語活動に資する技能を身に付ける。	主に論理的な文章について、作品をふまえて考察を深める力を付ける。 文章を読んだ上で、本文に従った読解力、思考力を身に付け、的確に解答を記述できる表現力を身に付け、入試に資する読解力をつける。
【学びに向かう力、人間性等】	【学びに向かう力、人間性等】
	積極的に学修に取り組み、自らの進路実現に向けて主体的に取り組む力を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 教科書掲載の作品中の言語を正確に理解し、筆者の主張を読み取る。 入試に頻出する漢字の書き取りや、語彙の理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 入試問題に頻出する作者の文章を的確に理解し、解答を記述することによって表現力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 課題小テスト等を通して、主体的に学習をした成果を測る。	・指導事項 教科書掲載の作品の読解 共通テスト・センター試験の演習 ・教材 「である」ことと「する」こと				・小テストによる語彙学習の成果 ・定期テストによる教科書掲載の作品の読解 ・定期テストによる初見入試問題の作品の読解 ・授業内での演習の取り組み				10
	B 単元 【知識及び技能】 教科書掲載の作品中の言語を正確に理解し、筆者の主張を読み取る。 入試に頻出する漢字の書き取りや、語彙の理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 入試問題に頻出する作者の文章を的確に理解し、解答を記述することによって表現力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 課題小テスト等を通して、主体的に学習をした成果を測る。	・指導事項 教科書掲載の作品の読解 共通テスト・センター試験の演習 ・教材 近代の成立 遠近法				・小テストによる語彙学習の成果 ・定期テストによる教科書掲載の作品の読解 ・定期テストによる初見入試問題の作品の読解 ・授業内での演習の取り組み				15
	定期考查				○		○	○		1
	C 単元 【知識及び技能】 教科書掲載の作品中の言語を正確に理解し、筆者の主張を読み取る。 入試に頻出する漢字の書き取りや、語彙の理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 入試問題に頻出する作者の文章を的確に理解し、解答を記述することによって表現力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 課題小テスト等を通して、主体的に学習をした成果を測る。	・指導事項 教科書掲載の作品の読解 共通テスト・センター試験の演習 ・教材 物語するという欲望				・小テストによる語彙学習の成果 ・定期テストによる教科書掲載の作品の読解 ・定期テストによる初見入試問題の作品の読解 ・授業内での演習の取り組み				15
	D 単元 【知識及び技能】 教科書掲載の作品中の言語を正確に理解し、筆者の主張を読み取る。 入試に頻出する漢字の書き取りや、語彙の理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 入試問題に頻出する作者の文章を的確に理解し、解答を記述することによって表現力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 課題小テスト等を通して、主体的に学習をした成果を測る。	・指導事項 教科書掲載の作品の読解 共通テスト・センター試験の演習 ・教材 絵画の二十世紀				・小テストによる語彙学習の成果 ・定期テストによる教科書掲載の作品の読解 ・定期テストによる初見入試問題の作品の読解 ・授業内での演習の取り組み				15
	定期考查						○	○		1

[illegible]

国分寺 高等学校 令和 7 年度 教科 国語 科目 文系古典探究

教 科： 国語 科 目： 文系古典探究 単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 選択

教科担当者：①組：倉股・井口 ②組：倉股・井口 ③組：笹井・中西

使用教科書：（ 精選古典探究・東京書籍 ）

教科 国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

科目 文系古典探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 教科書掲載の作品中の言語を正確に理解し、筆者の主張を読み取る。 入試に頻出する語彙、古典文法、句法の理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 入試問題に頻出する文章を的確に理解し、解答を記述することによって表現力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 課題小テスト等を通して、主体的に学習をした成果を測る。	・指導事項 教科書掲載の作品の読解 共通テスト・センター試験の演習 ・教材 『源氏物語』『韓信伝』				・小テストによる語彙学習の成果 ・定期テストによる教科書掲載の作品の読解 ・定期テストによる初見入試問題の作品の読解 ・授業内での演習の取り組み				
			○	○	○		○	○	○	20
	A 単元 【知識及び技能】 教科書掲載の作品中の言語を正確に理解し、筆者の主張を読み取る。 入試に頻出する語彙、古典文法、句法の理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 入試問題に頻出する文章を的確に理解し、解答を記述することによって表現力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 課題小テスト等を通して、主体的に学習をした成果を測る。	・指導事項 教科書掲載の作品の読解 共通テスト・センター試験の演習 ・教材 『源氏物語』『唐代の文章』				・小テストによる語彙学習の成果 ・定期テストによる教科書掲載の作品の読解 ・定期テストによる初見入試問題の作品の読解 ・授業内での演習の取り組み				
			○	○	○		○	○	○	20
	定期考查						○	○		1
	C 単元 【知識及び技能】 教科書掲載の作品中の言語を正確に理解し、筆者の主張を読み取る。 入試に頻出する語彙、古典文法、句法の理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 入試問題に頻出する文章を的確に理解し、解答を記述することによって表現力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 課題小テスト等を通して、主体的に学習をした成果を測る。	・指導事項 教科書掲載の作品の読解 共通テスト・センター試験の演習 ・教材 『大鏡』『諸子百家』			○	・小テストによる語彙学習の成果 ・定期テストによる教科書掲載の作品の読解 ・定期テストによる初見入試問題の作品の読解 ・授業内での演習の取り組み				
							○	○	○	20
	D 単元 【知識及び技能】 教科書掲載の作品中の言語を正確に理解し、筆者の主張を読み取る。 入試に頻出する語彙、古典文法、句法の理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 入試問題に頻出する文章を的確に理解し、解答を記述することによって表現力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 課題小テスト等を通して、主体的に学習をした成果を測る。	・指導事項 教科書掲載の作品の読解 共通テスト・センター試験の演習 ・教材 『大鏡』『唐代の文章』			○	・小テストによる語彙学習の成果 ・定期テストによる教科書掲載の作品の読解 ・定期テストによる初見入試問題の作品の読解 ・授業内での演習の取り組み				
							○	○	○	20
	定期考查						○	○		1

[illegible]

